

平成 28 年度日本腰痛学会評議員会（社員総会） 議 事 録

【開 催 日 時】 平成 29 年 11 月 2 日 午後 5 時 30 分から午後 6 時 15 分まで

【開 催 場 所】 東京都品川区東品川 2-3-15

第一ホテル東京シーフォート 3 階 ハーバーサーカス

【出席した評議員の人数】

81 名（理事 16 名、特別アドバイザー 3 名）

委任状 26 名

【議事録の作成に係る職務を行った者の氏名】

理事長 紺野慎一

【議事の経過の要領及びその結果】

理事長 紺野慎一 は、定款の定めにより議長となり、開会を宣言した。学術集会会長である大川淳理事より挨拶があったのち、直ちに議事に入った。

報告事項

1 庶務報告

幹事より、第 25 回学術集会の開催（平成 29 年 11 月 3 日（金）、4 日（土）東京コンファレンスセンター・品川）、理事会・評議員会の開催（平成 29 年 11 月 2 日（木））、編集委員会の開催（平成 29 年 11 月 3 日（金））各委員会の開催について報告された。平成 29 年 6 月 25 日に JSR 第 8 巻 6 号を発行した。投稿論文数が 20 編で、査読の結果 16 編が掲載された（一般投稿 12 編、学会の主題からの特集 4 編）であった。平成 29 年 10 月 25 日現在の正会員は 989 名（名誉会員 16 名、特別会員 14 名、新入会会員 69 名）である。退会者は 42 名（物故会員 5 名）、賛助会員 20 社であった。

2 腰痛診療ガイドライン改訂版策定委員会について

幹事より委員とアドバイザーについての紹介、進捗状況について報告があった。

3 ペインコンソーシアム（痛み関連学会連携協議会）について

幹事より当学会がペインコンソーシアムに参加し、参加学会間でのホームページでの学術集会の告知、リンク、およびシンポジウムの開催について報告があった。第 25 回日本腰痛学会でペインコンソーシアムのシンポジウムを開催予定であることが報告された。

4 第 24 回日本腰痛学会収支報告

幹事より第 24 回日本腰痛学会の収支報告があった。

審議事項

1 第1号議案 平成28年度収支決算・監査報告

幹事より、本学会の事業年度が毎年9月1日から翌年8月31日であることが確認された。平成28年9月1日から平成29年8月31日までの収支決算について報告された。鳥嶋康充監事より、収支決算について領収書、通帳などの資料とともに金山雅弘監事と監査を行い、適正に行われていることが報告された、承認が得られた。

2 第2号議案 平成29年度事業計画案

幹事より学術集会開催、学会誌発行、委員会開催の予定について下記のごとく提案され、承認された。

1) 第26回学術集会の開催：平成30年10月26日（金）、27日（土）

会長：松山幸弘理事（浜松医科大学）、会場：アクトシティ浜松

2) 学会誌発行：平成30年6月 JSR第9巻6号

3) 委員会開催：平成30年10月理事会、評議員会、編集委員会

随時 腰痛診療ガイドライン改訂版策定委員会

3 第3号議案 平成29年度予算案

平成29年9月1日から平成30年8月31日までの収支予算書に基づいて予算案が提案され、承認された。

4 第4号議案 次々々期会長の選出

次々々期会長について自薦、他薦はなかった。理事長から山下敏彦理事（札幌医科大学）が推薦され、承認された。

5 第5号議題 役員・評議員の推薦、辞任、特別アドバイザー就任、正会員・賛助会員推薦

1) 名誉会員の推薦：川岸利光先生、菊地臣一先生、中村耕三先生、藤野圭司先生、米延策雄先生が推薦され承認された。特別会員の推薦：佐野茂夫先生、松本學先生が推薦され承認された。

2) 理事の推薦：新井貞男先生（あらい整形外科）、松本守雄先生（慶応大学）が推薦され承認された。

3) 評議員の推薦：栗飯原孝人先生（船橋整形外科病院）、折田純久先生（千葉大学大学院医学研究院）、古賀公明先生（菊野会菊野病院）、小西宏昭先生（長崎労災病院）、関口美穂先生（福島県立医科大学）、中嶋隆夫先生（日本医科大学千葉北総病院）、西田康太郎先生（神戸大学整形外科）、平井高志先生（東京医科歯科大学）、圓尾圭史（兵庫医科大学）、森本忠嗣（佐賀大学）、大和 雄先生（浜松医科大学）が推薦され、承認された。

4) 理事の辞任：川岸利光理事、藤野圭司理事の辞任が承認された。

5) 評議員の辞任：駒形正志評議員の辞任が承認された。

6) 特別アドバイザーの就任：藤野圭司理事の就任が承認された。

7) 正会員・賛助会員の推薦：井川達也理学療法士（国際医療福祉大学三田病院）、神田 賢 助教、理学療法士（新潟医療福祉大学）、北村拓也 理学療法士、助教（新潟リハビリテーション大学）、佐藤成登志 教授、専門理学療法士（新潟医療福祉大学）、村本拓磨 理学療法士（えにわ病院リハビリテーション科）が推薦され、承認された。賛助会員の推薦：United Biomech Japan 株式会社が推薦され、承認された。

#### 6 第6号議案 優秀論文賞の報告

理事長より16編の論文について、選考委員による厳正な審議の結果、山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学講座 小泉修一先生の「慢性痛のグリア制御」と杏林大学病院整形外科学教室 佐野秀仁先生の「長期椎体骨折例と椎体後壁膨隆タイプに対するBKPの適応」に決定したことが報告され、承認された。

#### 7 その他の審議事項

- 1) 遠藤健司評議員から学会で保険委員会設置について提案があった。
- 2) 中井修評議員からエアドリルのバーのリユースについて認められるよう学会からの働きかけを行うことが提案された。中村博亮評議員からドリルバーメーカーによって単回使用のみや複数回使用可能のバーがあり、単回使用のバーのリユースを防止の取り組みが求められていることが説明された。田口敏彦理事から日本脊椎脊髄病学会でも検討されているとの説明があった。
- 3) 大鳥精司評議員から2019年ISSLSに日本腰痛学会としても協力していくことが提案された。千葉一裕評議員からISSLSの事務局長として御礼があった。
- 4) 波呂浩孝理事から第24回日本腰痛学会参加への御礼があった。

#### 8 次期会長、次々会長挨拶

第26回学術集会会長の松山幸弘理事、第27回学術集会の市村正一理事から挨拶があった。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成29年11月2日

一般社団法人日本腰痛学会  
議長 理事長 紺野慎一